

令和8（2026）年度

学生インターン
協働型課題解決ワークショップ

課題一覧

大田区【課題番号 1-①】大田区をPRするTikTok動画(ショート動画)の作成と発信
 【課題番号 1-②】羽田空港から訪日する外国人観光客に向けた情報発信の強化
 【課題番号 1-③】羽田空港発区内回遊ショートトリップの提案

課題 1-① 課題と背景 ワークショップに期待すること	観光協会として、さまざまな事業・イベントを行っているが、参加者はアクティブシニア世代が多く、若者世代を取り込めていない現状がある。 若年層にも興味を持ってもらえる事業展開を行っていききたい。そこで、 大田区をPRするショート動画(TikTok)の発信 を強化することで、大田区の魅力に気づいてもらい、区内回遊者を増やしていきたい。
課題 1-② 課題と背景 ワークショップに期待すること	羽田空港を利用し訪日する外国人観光客は区を経由する、また、区内で宿泊していると思うが、円安の今、区内を回遊していただき地域経済活性化につなげたい。 外国人観光客向けのコースやおすすめ情報などのコンテンツを作成 していただき、インバウンド向けメディアや旅前のプラットフォームに投稿するなど、 インバウンド向けの発信強化 について提案していただきたい。
課題 1-③ 課題と背景 ワークショップに期待すること	羽田空港を擁する地元自治体であるが、国内外の羽田空港利用者の多くが大田区内を回遊せず、スルーして都心や地方の観光地に行ってしまう傾向がある。 羽田空港から区内を回遊するショートトリップ(特に若者向け)を提案 していただきたい。
提供可能な資料	ホームページ、SNS(Instagram、X、Facebook)、事業計画書、各種刊行物
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能
その他実施に当たっての希望	既存の観光資源にとらわれない若者の感性を活かした提案を希望します。通常のやりとりはメールやZOOM等でのミーティングで進められたらと思いますが、事業のスタート時、途中段階、最終段階等、節目では対面で打ち合わせができればと考えています。

東京観光財団より
 ⇒課題1-①~③のすべてに対応できるゼミを優先します

一般社団法人大田観光協会

所在地：大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ2階
 (京急蒲田駅徒歩3分/JR・東急蒲田駅東口徒歩13分) URL: <https://o-2.jp>
 体制：9名(事務局長+職員7名+非常勤1名)
 主な事業：広報事業(HP&SNS、パンフレット発行、大田区学検定) / 回遊促進事業
 (イベント運営、出展、ボランティアガイド支援) / 産業観光事業
 (オープンファクトリー他) / 広域連携事業 / はねびょんグッズ / 会員連携事業ほか

【ひと言PR】：大田区って羽田空港以外に何があるのかな?と思いますよね。大田区は東京23区で一番面積が大きい分、魅力もたくさんあります。大田区が初めましての方も、ご存じの方も、宝探しのように魅力を見つけていただいて、一緒に発信していただけたらと思います。

北区【課題番号 2】北区花火会 川口側「有料席の販売促進」に重点を置いたプロモーション

<p>課題 2</p> <p>課題と背景</p> <p>ワークショップに期待すること</p>	<p>北区花火会は、毎年秋に北区荒川河川敷で開催されているイベントである。昨年（第12回）は、赤羽側・川口側を合わせて約78,000名が来場した。来場者の安全確保および混雑緩和の観点から、来場者数を適切にコントロールしながら、効果的なプロモーションを実施することが課題となっている。</p> <p>来場者の内訳は、赤羽側が約66,000名（有料16,000名／無料50,000名）、川口側が約12,000名（有料3,000名／無料9,000名）であった。赤羽側では有料席がほぼ完売するなど、安定した販売実績を上げている。一方、川口側は2年前より有料席を開設し、約6,000席を設置したものの、販売実績は約3,000席にとどまり、完売には至っていない。特に、最も価格帯の低い「ファンゾーン」の売上が伸び悩んでおり、販売強化が重要な課題となっている。また、無料観覧を目的とする来場者も一定数存在しており、フリーライダーを抑制しつつ、有料席の購入を促進する仕組みづくりが求められている。</p> <p>今後は単なる「集客数の増加」ではなく、川口側の「有料席の利用促進」に焦点を当てたプロモーション戦略の検討および実行が必要である。</p> <p>特に川口側の有料席、とりわけファンゾーンの販売強化を重点テーマとし、北区花火会実行委員会と連携しながら取り組んでいただきたい。</p>
<p>提供可能な資料</p>	<p>①過去の花火会の来場者データ、販売実績データ ②昨年度のプロモーション活動とその結果報告書 ③北区花火会に関する人流データ</p>
<p>実施希望期間</p>	<p>ゼミの提案により調整可能 6月～9月の間で柔軟に対応</p>
<p>その他実施に当たっての希望 (9月26日(土)は参加必須)</p>	<p>①打合せ頻度：月1回を基本とし、必要に応じて追加対応可 ②打合せ場所：北区赤羽イノベーションサイト観光協会イベントスペース（JR赤羽駅徒歩3分にて実施） ③希望するゼミの専門分野：マーケティング（デジタルマーケティング、広告戦略） 観光学（観光プロモーション）、経営学（イベント運営、組織管理） ④広報・メディア（SNS運用、デザイン）</p>

一般社団法人 東京北区観光協会

北区観光協会は、「観光を切り口に北区の新しい価値をInnovativeに創造する」ことをミッションに、観光×まちづくり×パブリックリレーションズ×公民連携を推進している。行政・金融機関・民間事業者・大学等と連携しながら、観光を地域経済循環のエンジンとして活用し、北区の魅力発信と持続可能な観光まちづくりを目指して以下の事業を展開している。

① 北区観光プロモーション事業 SNS・メディア・観光DXを活用した情報発信 ② 地域イベントの企画・支援 飛鳥山公園を中心としたイベントの企画・実施、地域イベントの支援 ③ 公共空間活用・エリアマネジメント 飛鳥山公園や荒川河川敷など公共空間を活用した社会実験 ④ 文化財・近代化遺産、地域資源を活用した観光価値の創出 ⑤ 観光人材育成（地域ガイド・観光プレイヤーの育成） ⑥ 観光DX・人流データやマーケティング分析を活用

【ひと言PR】：北区花火会のさらなる発展に向け、観光×まちづくり×マーケティングの視点を活かした新たな試みを実施します！学生の皆さんの柔軟な発想と行動力を活かし、イベントの成功にご協力よろしくをお願いいたします。学生の皆さんにとっても、貴重な経験となることと思われまます。

八王子【課題番号 3-①】ヘルスツーリズム認知度向上・若年層参加促進のためのPR および、ボランティアガイド応募者獲得のためのPR

課題3 - ① 課題と背景

八王子観光コンベンション協会では、「八王子・高尾山ウェルネス」として①ハイキングガイドツアー、②自然観察会、③ウェルネスリトリートの3種類のプログラムを実施している。①②は長年継続され一定の認知度があることから、新規参加者やリピーターの安定した参加が見込まれているが、一方③ウェルネスリトリートは、昨年秋から新しく始めたのでまだその魅力が十分伝わっておらず、残念ながら集客に苦戦している。ウェルネスリトリートは科学的エビデンスに基づき東京都で唯一認証を受けたヘルスツーリズム認証プログラムであり、健康増進と季節問わず楽しむことができる点が魅力となっているが、それが十分伝えられていない。

そのため、**プログラムの魅力や価値を広く発信し、集客につなげる**ことが課題となっている。また、「八王子・高尾山ウェルネス」全体の傾向として、シニア世代に参加者が偏っており、それ以外の年齢層の参加がほとんど見られない状況である。そのため、これまで参加の少なかった**学生や親子など現役世代に対してライフスタイルや関心に合った情報発信や魅力の伝え方を検討し**、参加者数の増加につなげていくことも課題となっている。

さらに、「八王子・高尾山ウェルネス」において実際にツアーで案内をしているスタッフは高尾山ボランティアに所属するメンバーであり、すでに10年以上活動を続けているメンバーも多いことから、高齢化により引退が近い方も多い。魅力的なツアーには、そのツアーを引っ張る魅力的なガイドやスタッフが欠かせない。そのため、**高尾山ボランティアの活動そのものの魅力をPRし**、ツアー等のガイドになりたい人を増やしていくことへつなげていきたい。

ワークショップに 期待すること

「八王子・高尾山ウェルネス」のヘルスツーリズム認証プログラムの**認知度向上と参加促進につながる情報発信の方法について検討**するとともに、プログラムの魅力を伝える**動画の作成および発信**を行っていただくことを期待している。特に、若年層にも関心を持ってもらえるような内容や表現を取り入れた動画を制作し、Instagramへの投稿などSNSを活用して発信・拡散することで、認知度向上と参加者の拡大につなげたい。

また、**ヘルスツーリズムプログラムに参加して撮影した画像等**を活用し、協会公式サイトに掲載しているモデルコースページに新たなモデルコースの一つとして追加することを想定し、**掲載用の写真素材や紹介文章などの作成**についてもお願いしたい。

さらに、ヘルスツーリズムプログラムに加え、既存のハイキングガイドツアーや自然観察会についても、その**魅力を紹介する動画の作成およびInstagram等での発信**を検討していただくことで、既存プログラムへの若年層参加促進につながることを期待している。

作成してもらうコンテンツの一つとして、**高尾山ボランティアの活動の魅力についても取りあげてもらいたい。**

※Instagramへの投稿について： 協会アカウントへの投稿は協会が行う。

※協会公式サイトへモデルコース追加作業： 協会が行う。

八王子【課題番号 3-②】[お出かけウォッチャー]を活用したデータ分析・レポート作成

課題3-② 課題と背景

八王子観光コンベンション協会では、観光客の来訪状況や人流の把握を目的として「お出かけウォッチャー」を導入している。しかし、現状ではデータの取得にとどまり、来訪者の動向や滞在傾向などのデータを分析・可視化し、会員や地域の方へデータを共有する効果的な方法について、十分なノウハウが蓄積されていない。

人流データの効果的な分析手法を検討するとともに、得られた分析結果をもとにデータを可視化し市内観光人流の課題を共有することが、地域における観光振興の観点からも重要な課題となっている。

ワークショップに 期待すること

東京観光財団より

⇒お出かけウォッチャーは、観光客の動向をデジタルで可視化し、地域の観光分析や施策改善に活用できるクラウド型人流モニタリングツールです。対応するゼミにはアカウントを提供いたします。(都内観光協会使用中のデータです)

「お出かけウォッチャー」によって取得できる**人流データを活用し**、観光客の来訪傾向や行動パターンを分析する手法について検討することを期待している。特に、八王子市内の観光スポットへの来訪状況や来訪者の移動傾向、時間帯別・季節別の特徴などを整理し、**データから読み取れる観光客の動向を可視化すること**に取り組んでほしい。

また、データ分析の結果から、来訪者数の変化や特徴的な動きが見られる地点を抽出し、その背景や魅力について考察していただきたい。抽出した地点については、実際に現地を訪れて調査(実踏)を行い、データから見えた傾向と現地の状況を照らし合わせながら、観光資源としての魅力や課題について検討をお願いしたい。

分析結果については、地元の方や会員企業へ情報共有することを目的とした**レポートとして整理・作成**。更にデータ分析および現地調査の成果を踏まえ、八王子の魅力を発信するために、**公式WebサイトやSNS (Instagram、YouTube) を活用した情報発信の企画・制作**にも取り組んでほしい。

単なるデータ分析にとどまらず、観光客の動向をデータから読み取り、実際の地域の魅力や課題と結び付けて考える実践的な視点を養うことを目的とし、**八王子市内の観光振興において、どのような特徴や可能性、課題があるのかを考察し、地域の魅力を効果的に伝える方法について検討**していただくことを期待している。

提供可能な資料

八王子・高尾山ウェルネスを紹介しているページを参考にご覧ください。 <https://802kanko.tokyo/wellness/>
その他、観光スポットについての情報や資料などの提供は可能。

実施希望期間

事前打合せ及び**オリエンテーションについては、8月中旬以降**でお願いしたい。活動についてはゼミと相談させていただくが、**ヘルスツーリズムツアーを実際に体験してもらう場合9月以降**での設定でお願いしたい。※八王子・高尾山ウェルネス及び高尾山ボランティアの活動は7・8月は休止のため。

公益社団法人 八王子観光コンベンション協会

(公社)八王子観光コンベンション協会公式
観光情報サイト「いこうよ八王子・高尾山」

<https://www.hkc.or.jp/>

【ひと言PR】協会公式サイトは年間PV数は約900万PV。
公式Instagram「いこうよ高尾山 (@go_to_takaosan)」はフォロワー1.9万人、「八王子の観光情報 (@hachiojivisit)」はフォロワー7,060人。皆さんの作った動画等は、八王子・高尾山ウェルネスのことだけでなく、多くの人に八王子・高尾山の魅力を届けることが出来るので、ぜひチャレンジしてほしい。

昭島【課題番号 4】「みずまちあきしま」プロジェクトを活用した認知度・周知度アップ

課題 4 課題と背景	※「みずまちあきしま」プロジェクトとは... 当協会では、2024年度にプロボノ人材を活用して、昭島市が「水の街」として認知されることを目指して活動してきた。その中で、来街者に深層地下水100%の「あきしまの水」と市内JR4駅の給水スポットについてアンケートを行ったところ、認知度は3割程度であった。今後、市外に向けてブランディングを行い、「あきしまの水」の認知度をアップさせるとともに「昭島市」自体もPRしていくプロジェクト (例)・「みずまちあきしま」の動画作成や情報発信 ・「みずまちあきしま」を絡めたイベント企画・運営
ワークショップに期待すること	2025年度から、「みずまちあきしま」のブランディングプロモーションに取り組んでいます。「みずまちあきしま」のブランディングロゴを活用しながら、水道水が深層地下水100%の「あきしまの水」「昭島市」の認知度・周知度アップのために、具体的なプランを策定し、実行と検証をしていただきたい。
提供可能な資料	昭島についての調査や分析は、2024年度に実施した協働型課題解決ワークショップにおいて、東洋大学、立教大学が作成した資料があります。また、2023年度から活用しているプロボノ人材や大学ゼミとの協働活動の資料も必要であれば、教示できます。
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能
その他実施に当たっての希望	○調査や分析は短期間で終わらせて、すばやくPDCAに取り組んでください。 ○提案で終わるのではなく、課題解決に向けて何頭実施して検証を行っていただきたい。 ○現地に来た際は、当会事務所や案内所に寄っていただき、直接コミュニケーションをとる機会を多く作ってください。 ○2023年度から開催している会員交流会にて、中間発表をしていただきます。会員交流会では、市民である会員様の意見を聞くことができます

一般社団法人昭島観光まちづくり協会

当会は、昭島の良さをより多くの方々に知っていただくための活動を行うことにより、この地域が更に元気で活力ある「まち」となることを目指しています。市や商工会を始め、市内の各団体・企業と連携し、合同の事業も行っています。

HPのURL <https://akishima-kanko.org/> Instagram <https://www.instagram.com/akishimakanko/?hl=ja>

主な事業 ①あきしま町あるきの開催(月1回) ②観光案内所の運営 ③昭島ロケーションサービスによるロケの誘致 ④写真募集イベントの開催 ④ワークショップの開催(年数回) ⑤あきしま郷土芸能まつり(毎年5月)の主管

【ひと言PR】事務局は少人数で運営しているため、企画から決定まで、常に迅速に事業を実施しています。予算の問題もあり、費用的に大がかりなものは実施できませんが、マンパワーと企画内容の良さで実現できるものは、積極的に取り組んでいます。

式根島【課題番号 5-①】ポスター制作とそのPR

【課題番号 5-②】特産品開発に向けたアイデア提案や試作品の製作 およびイベントにおける販売協力と反応の調査

課題5-① 課題と背景

式根島観光協会では日々のSNS等の宣伝とパンフレット製作は行っているが、近年ではポスター製作をしていない。東海汽船（船会社）や新島村役場が製作のポスターがあるだけで、協会オリジナルのポスターが無く、年間を通して宣伝が出来るオリジナルポスターが必要にもかかわらず、人材不足とアイデア不足のためなかなか実現できていないのが現状。面白いアイデアやデザインのポスターを試作いただき、まずは都内で開催されるイベント（周穫祭：11月開催）に参加し、PRに協力していただきたい。

ワークショップに 期待すること

式根島の認知度向上・知名度向上のためのポスター製作をお願いしたい。ポスターといっても写真だけのポスターではなく、グラフィックや加工等を行い、若年層に見栄えするようなキャッチコピーのものを製作し、大小様々な場所に貼り出せるようなサイズでの製作、及び島内用と島外用の2種類を希望する。

課題5-② 課題と背景

式根島を代表するお土産といえば「焼酎」等があげられるが、すべての世代で人気がある訳ではないため、若い世代が欲しいと思うような特産品開発を行いたいが、アイデアがないのが現状。式根島はお金を使える場所がほとんどないというアンケートの回答が多いことから、お土産をたくさん買って帰る方が少ないのが非常に残念なので、お土産になる特産品開発に向けて皆様の若いアイデアを期待したい。

ワークショップに 期待すること

式根島の特産品開発のため、イベント（周穫祭：11月に都心にて開催）に向けてアイデア提供、出来れば試作まで行い、実際に**イベント会場で消費者に意見を聞くなど、反応を調査**して欲しい。改善を行いながら最終的には、式根島観光協会販売できるモノへの提案を希望する。

提供可能な資料

式根島観光協会が毎年まとめた資料（式根島観光協会調査報告書）がございますので、こちらをご覧ください
と式根島の現状等がわかります。式根島観光協会ホームページ<https://shikinejima.tokyo/blog/news/3902/>

実施希望期間

ゼミの提案により調整可能 **※周穫祭（11月21日、22日・東京国際フォーラムにて開催）は参加必須**

実施に当たっての希望

アイデア構築の前提として、現地（式根島）で調査する必要もあるため、夏休み中も活動していただく可能性があります。

一般社団法人 式根島観光協会

式根島観光協会は、式根島の観光全般のPRや案内窓口をメインとし、式根島の島づくりやオリジナルグッズなどを販売しています。他にも様々な業務があり、式根島のなんでも屋さんです。URL = <https://shikinejima.tokyo/> 体制 = 職員5名（正職1名、フルタイム1名、パート3名） 主な事業 = 観光PR、観光案内業務、ガイド業務、SNS等配信、連絡船にしき委託業務、新中央航空委託業務、島内外イベント、オリジナルグッズ製造販売、その他事業多数あります。

【ひと言PR】 式根島には、中学校までしかなく高校生や大学生の貴重な意見が本当に少ないため、なかなか事業計画に反映されないため、ぜひこの機会に貴重なご意見や島づくりを一緒におこなっていただける方と一緒にしたいです。→東京諸島の中で一番小さな島ですが、チャレンジアイランドと名を打ち、様々なことにチャレンジしている島です。例 雨の日対策として謎解きクエスト（有料版と無料版）、ジオキャッシュ（宝探し）、電気自動車（全国的に普及率が非常に高い）、電子マネーの利用が約9割近くなど、小さな島ですがいろんなことにチャレンジしています！

神津島【課題番号 6】神津島の観光価値を可視化する研究 ～星空と自然環境が生み出す滞在価値の探究～

<p>課題 6</p> <p>課題と背景</p>	<p>神津島は、満天の星や豊かな自然環境など、都市部では体験できない魅力を有しており、観光客からは高い満足度が得られている。一方で、近年の物価高騰に伴う宿泊料金の上昇に対し、島内では「宿泊料金が安い」といった声が出るなど、観光客が感じる価値と地域住民の認識との間に差がある可能性があり、また、天候や船の運航状況など、離島特有の要因により滞在体験が左右されるなど、観光客の満足度向上や滞在価値の見える化が課題となっている。</p>
<p>ワークショップに期待すること</p>	<p>① 観光客の満足度と価値の調査 神津島を訪れた観光客を対象にアンケートやヒアリングを行い、星空や自然環境、島の雰囲気など、どの要素が滞在満足度を高めているのかを調査する</p> <p>② 地域住民の観光に対する認識調査 島民へのアンケートやヒアリングを通じて、観光や宿泊料金に対する認識や期待を把握し、観光客との価値認識の違いを整理する</p> <p>③ 神津島の「滞在価値」の可視化 学生の視点を取り入れながら、星空や自然環境など神津島ならではの魅力がどのような価値を生み出しているのかを整理し、滞在価値を分かりやすくまとめる。</p> <p>成果物として、下記のようなものを期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •神津島の観光価値・滞在価値に関する分析レポート •観光客満足度調査結果の可視化 •島民向けの観光理解資料（島民が自然に理解できるような何か）
<p>実施希望期間</p>	<p>ゼミの提案により調整可能</p>
<p>その他実施に当たっての希望</p>	<p>相談に応じます。</p>

特定非営利活動法人 神津島観光協会

設立：1965年
 所在地：東京都神津島村37-2 まっちゃんセンター内
 アクセス：神津島港直結
 メール office@kozushima.com
 電話番号 04992-8-0321
 FAX番号 04992-8-0323
 事業内容：観光案内、会員サポート他

【ひと言PR】

楽しい提案をお待ちしております！

東京諸島連盟【課題番号 7】東京諸島への若年層（10～30代）の注目、ひいては旅行行動までに動かすような動画等訴求ツールの制作

<p>課題 7</p> <p>課題と背景</p>	<p>東京諸島への誘客事業に取り組んでいるものの、若年層世代のニーズを追えていないし、事業の効果検証も満足に追えていない。学生目線から若年層のニーズにあった動画の作成等で島の周知に取り組んで欲しい。</p>
<p>ワークショップに期待すること</p> <p>東京観光財団より ⇒式根島、神津島は別途課題があるため、この課題では対象外となります。</p>	<p>若年層の注目するツールの作成と効果検証。 具体的にはSNSにあげて島の周知に繋がるような動画作成等。東京諸島観光連盟が指定する2つの島（事情により不可能な場合は1つの島でも可）について取り組んで欲しい。</p> <p>※1つの島の場合は、2パターン制作し比較してみるなども必要。 また、将来的にリゾートバイトや移住へのきっかけになるような取組といたく、問題点や解決策についても、観光学等の学問を学ぶ視点を生かしつつ、提案して欲しい。</p> <p>※東京諸島（大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、父島、母島の計11島）</p>
<p>提供可能な資料</p>	<p>写真等は弊連盟で所持してはいますが、観光写真のような「いかにも」というものばかり。他必要なものがあれば随時ご相談ください。</p>
<p>実施希望期間</p>	<p>ゼミの提案により調整可能</p>
<p>その他実施に当たっての希望</p>	<p>繁忙時期の夏は現地入りを避けて頂ければ幸いです。（7月海の日～8月末） また、秋は東京諸島観光連盟の事務局が繁忙に入りますのでスケジュールは要確認です。</p>

一般社団法人 東京諸島観光連盟

<https://www.tokyo-islands.com/>
東京の有人島11島における広域連携事業。観光PR事業。

【ひと言PR】

東京の島11島（伊豆諸島・小笠原諸島）の観光PR・広域連携事業に取り組んでいる組織です。事務局は3名しかおらず、視野も狭くなってしまいます。是非学生さんの新鮮な視点で若年層のかたにアプローチできるキッカケ作りにお力添えください。